



四 気 折 々

四気＝川越中校訓「やる気 ほん気 こん気 げん気」

川越町立川越中学校
学校だより 第4号
平成29年5月10日

一粒の種が力強く生きる源に…

平成26年度から始まった「川越中はるかひまわりプロジェクト・絆」も4年目を迎え、本年度は全校有志生徒96名で取り組むこととなりました。

「はるかひまわり絆プロジェクト」は、阪神大震災由来のひまわりの種「はるかひまわり」を全国で生育し咲かせる過程を、災害の悲惨さと共に命の尊さを再考する機会とする事で、「人の尊厳」と「人との関わりの大切さ」を知る感性豊かな地域社会を醸成する事を目的としたものです。

4年前に本校のたった一人の教師の呼び掛けで始まったこの取り組みを、本校だけではなく川越町でも広げたいという生徒会本部の思いが届き、2日（火）放課後に、城田町長様、木村副町長様、稲田教育長様とお会いし、「はるかひまわり」の種を直接お渡しするとともに、川越町役場に置かせていただくこととなりました。力強く、太陽に向かって明るく育つひまわりが川越町にたくさん花咲かせてくれることを願います。

なお、学校の花壇で、9日（火）放課後に、有志生徒の一人一人が思いを込めて、「はるかひまわり」の種を丁寧に蒔きました。また、有志生徒96名は、「はるかひまわり」が大輪の花を咲かせ、種を収穫するまで、水やりや草抜きを頑張ります。

【生徒会本部からの依頼】



【種蒔きの様子】



今年も感動！

家庭訪問2日目にあたる昨日9日（火）の昼食時間帯に、北校舎2階のベランダから職員室前の花壇を見下ろし、箒を手に握った2年生のサッカー部員が「こんにちは。校長先生は何をしているの？」と問い掛けてきました。私は「ひまわりプロジェクトのお手伝い」と、答えると同時に「サッカー部は何時から活動なの？」と聞き返しました。すると、「掃除し終えたら始めるの」とすぐさま答えてくれました。

家庭訪問中は掃除がないため、サッカー部が率先して教室や廊下をきれいにしてくれているのだと職員室内の先生に確認することができました。併せて、吹奏楽部がトイレ掃除をしてくれていることも確認することができました。確か、昨年も同様にサッカー部と吹奏楽部がきれいにしてくれていたことを思い出しました。

家庭訪問期間に限らず、机の整頓やごみ拾いなど、本校をきれいに保ち続けてくれている生徒やその指導に携わる教職員がいてくれることをうれしく思います。

川越中学校は、このようにすばらしい活動を継続して行える学校なのです。

